

# ご意見ご要望

## ありがとうございますございました

平成22年度 市長とのミニ対話集会

市民の皆さまと直接対話し、日頃から感じられている行政への要望、ご意見をいただくことで、市政に反映していくための「市長とのミニ対話集会」を開催してまいりました。22年度において、市内15団体、488人の方々からご参加をいただきました。今後も、きめ細かな市民対話の積み重ねを続け、市民参加によるまちづくりを進めてまいります。今回会場でいただきましたご意見の一部を紹介します。



映像を使って「環境と経済が両立する島づくり」の佐渡市の取組みを解説

### ■実施団体（敬称略）

- 5月15日 山田第一部落（赤泊）
- 8月4日 相川花の会（相川）
- 8月8日 NPO法人相川京町町並み保存センター（相川）
- 11月9日 腰細部落（赤泊）
- 11月21日 中興公民館（金井）
- 2月11日 両津地区公民館片野尾分館（両津）
- 2月11日 羽茂大崎集落（羽茂）
- 2月13日 赤泊自治会（赤泊）
- 2月13日 大和公民館（金井）
- 2月13日 NPO法人佐渡成長戦略政策塾（金井）
- 2月17日 佐渡市消費者協会佐和田支部（佐和田）
- 2月20日 小倉・長谷自治公民館（畑野）
- 2月20日 相川町商工会高千支部／高千・外海府総代会（相川）

### ■主な内容

- 2月26日 上山田公民館（羽茂）  
3月6日 松ヶ崎地区連絡協議会／畑野商工会松ヶ崎支部（畑野）
- Q** 佐渡再生・再建について、どのような有効な手立てがありますか？  
**A** これといった秘訣はなかなか難しいですが、市民が本當に何を求めるのか、要望がきわめて多様化しています。その多様なニーズを取り入れるながらとなると、「少しずつ良くする」というやり方が一番の近道です。そうすると、「変わらない」という不満が出てきてしまいます。佐渡市の高齢化社会では、急には変わりませんが、その中で、皆の意見を入れながら、方向を間違わないように行政運営をやっていきたいと思います。PPP問題はありますが、他所

よりも高く売れるトップブランドの米を作りながら、6次産業で利益を得る仕組みをつくりたいと思います。また、佐渡市の経済的振興には、観光客など、外からの投資が欠かせませんが、冬期間がハンディとなってしまうます。本土と同じ交通インフラの確保が必要です。

**Q** 佐渡空港の2000m化など、進捗状況はどうなっていますか？

**A** 昨年3月に、知事が、佐渡空港2000m化と県が中心になって航空会社をつくって飛行機を買うことをセットで提案しました。県議会はこれを否決しました。市はその間、相続人も含めて、増えた地権者から新たに同意を取り直して、92.2%に同意率が上がってきました。さらに、平成15年から手続きが複雑にな

り、地権者だけでなく、周辺地域などの合意形成手続きであるパブリックインボルブメント（PI）が必要ということ、まだ同意いただけない地権者の皆様にも、そういったPIをして良いかお話しさせてもらいました。結果として97.4%の皆様から賛成いただき、県にPI実施の要望書を提出しました。しかし県では、知事提案を県議会で否決されて間もないことから、もう少し時間を掛けたいとのことでした。また、県議会への請願については、知事提案の航空会社をつくることは外して、飛行場2000m化については、みのもは採択されそうです。しかし、飛行場を造っても、航空会社が無い問題は解決しません。これが私たちの宿題です。ある意味大きく前に進みましたが、先の長い話になります。

### ○その他の主な質問事項

佐渡観光や特産品の宣伝方法／佐渡汽船／LED防犯灯の設置／保育園民営化／漁業関係への補助支援／農業政策と集落維持活動／高齢者施設／佐渡病院／子ども手当の自治体負担／新総合体育館／路線バスのサービスク／除雪の対応／トキ認証米／国営ダムの周辺整備／防災無線整備計画／有機肥料の島内生産／米の無農薬栽培